

繫谷地南部っ子

令和6年度 学校便り
R6. 11. 14
NO 18
校長 秋場 一憲

経営キーワード「一步踏み出す力（主体性）」「チーム力（協働・対話）」「考え抜く力（解決・創造）」

若手教職員と共に成長する ～第4弾～

「若手教職員と共に成長する・若手教職員紹介」シリーズも第4弾となりました。今号では、田口 新 教諭を紹介し、今年度当初に朝日町立大谷小学校より転入し、本校1年目となります。3年担任のほかに、研究主任を担っていただいています。

— 田口 新 教諭：ブレない方針と寄り添う心が魅力 —



学級活動の一場面

3年担任として、日々の学級経営や学習指導等に尽力いただいています。様々な価値観や思い、願いを持つ子供たちに対し、いつも丁寧に指導しています。最も感心している点は、担任として教育者としてブレない方針を持っていることです。例えば、善悪の判断に関わる事案が発生した場合、良いことは良い、悪いことは悪いとし、かつその理由をしっかりと伝え指導しています。また、子供たち一人ひとりの困り感とその背景を汲み取り、心に寄り添いながら温かな言葉がけを行っています。しっかりとした学級経営で、集団の力が高まっています。

【田口 教諭にインタビュー】

Q 教員を志した理由は？

A 私自身が、小学生の時「学校って楽しいな。」と感じていました。1日7～8時間学校にいる子供たちが同じ思いを持てるよう、自分にできることはないかと考え教員を志しました。

Q 谷地南部っ子の良さは？

A 異学年の交流があり、子供たちの仲が良い学校だと思います。

Q 働き甲斐や生き甲斐を感じる時は？

A 子どもたちの何気ない瞬間の成長を見ることができた時です。（授業や休み時間の遊び、友達同士の会話など）

本校の課題の一つである学力向上に向け、研究主任として、学校研究並びに日々の授業改善の推進に尽力いただいています。具体的には、各担任の授業研究会に係る連絡調整や、事前研究会の呼びかけ、事後研究会の企画運営などを精力的に行っています。初めて研究主任を担い戸惑いもあるはずですが、一つ一つの取組みを丁寧に確実に行っていく責任感の強さに感心しています。お陰で、各担任の学習指導力が着実に向上しています。（校長）



算数の授業場面

東北地区 小学校特別活動研究協議会 青森大会で実践を発表！！



田口教諭が、西村山地区を代表し標記大会に参加しました。そして、温かな学級経営を基盤に、協力することやしなやかな人間関係づくりの大切さを理解させるために実践したドッジボールほか運動会の振り返りなどを堂々と発表してきました。本校の取組みを西村山地区内に止まらず、広く東北6県に発信してくださったことで、本校並びに3年生にとっても大きな自信と誇りに繋がりました。